



令和 7 年 9 月 30 日 14 時 00 分
近 畿 地 方 整 備 局
(同時発表: 阪神国際港湾(株)、神戸市港湾局)

神戸国際コンテナターミナル (KICT) での CONPAS 試験運用を実施 ～9 月 30 日より試験運用参加事業者の募集を開始します～

近畿地方整備局では、阪神国際港湾株式会社と連携し阪神港における CONPAS の導入を進めており、大阪港夢洲コンテナターミナルでは令和 6 年 3 月 29 日から、神戸港 PC-18 では令和 6 年 9 月 27 日から CONPAS の運用を開始しています。

今般、阪神港での CONPAS 利用拡大に向け神戸国際コンテナターミナルにおいて、輸出入コンテナ(実入搬出・実入搬入)を対象に下記のとおり試験運用を実施します。

試験運用への参加者につきましては公募での参加協力をお願いしたく、以下のとおり募集いたします。ご興味・ご関心がある事業者の方は是非ご参加ください。

※ CONPAS : Container Fast Pass の略称であり、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図ることでコンテナ物流の効率化及び生産性向上を実現することを目的として、国土交通省が開発したシステム

<神戸港 CONPAS 試験運用>(詳細は「別紙」)

- 実施期間
令和 8 年 1 月 19 日(月)～1 月 30 日(金) (土日除く)
※なお、事務局で調整した参加者にて接続テスト・車両動線の確認等を令和 7 年 11 月 17 日(月)～11 月 21 日(金)の期間で実施します。
- 実施場所
神戸港 PC15-17 神戸国際コンテナターミナル(KICT)
- 実施対象
輸入コンテナ(実入搬出)及び輸出コンテナ(実入搬入)
- 参加事業者
ターミナルオペレーター、海運貨物取扱業者、海上コンテナ輸送事業者

<試験運用への参加申請について>

- 申請期間
令和 7 年 9 月 30 日(火)～11 月 10 日(月)
- 対象事業者
海運貨物取扱業者、海上コンテナ輸送事業者
- 募集要領及び申請方法
詳細については以下のリンク先よりご確認ください。
URL : <https://hanshinport.co.jp/?post_type=press&p=15814&preview=true>

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、神戸海運記者クラブ、
神戸民放記者クラブ、みなと記者クラブ、港湾新聞社、神戸経済記者クラブ、
マリタイムデーリーニュース社、海事プレス、港湾空港タイムス

<問合せ先> 国土交通省 近畿地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 いちのせ りんこ 一瀬 輪子
クルーズ振興・港湾物流企画室長 やまもと さとる 山本 悟
Tel: 078-391-3102(直通)

試験運用の実施概要

項目	実入り搬出	実入り搬入
時期	令和8年1月19日（月）～1月30日(金)（土日を除く） ※なお、事務局で調整した参加事業者にて接続テスト・車両動線の確認等を令和7年11月17日(月)～21日(金)の期間で実施	
場所	神戸港KICT コンテナターミナル	
対象事業者	神戸港KICTの利用がある海運貨物取扱業者・海上コンテナ輸送事業者	
予約時間枠	基本は60分枠（詳細はP.2）	
予約時間許容幅	予約時間前5分	
予約上限枠	基本は20台/枠	基本は15台/枠
予約期限	予約時間枠の1枠前まで	
実施内容	【機能確認事項】 ①搬出予約 ②海貨事業者に加え、海コン事業者を起点としたCONPAS予約取得 ③搬出可否情報の事前確認 ④CONPAS車両が通行するレーンへの進入可否判定を携帯端末へ表示 ⑤出入管理情報システムとの連携によるPSカードを活用した入場受付 ⑥CONPAS専用携帯端末による行先表示 ⑦車両位置情報およびゲート前渋滞情報の表示、ゲートアウトの自動判定 ⑧傭車のCONPAS利用 ⑨時間外におけるCONPAS予約機能の確認	【機能確認事項】 ①搬入予約 ②海貨事業者に加え、海コン事業者を起点としたCONPAS予約取得 ③搬入情報の事前照合 ④CONPAS車両が通行するレーンへの進入可否判定を携帯端末へ表示 ⑤出入管理情報システムとの連携によるPSカードを活用した入場受付 ⑥ゲート前渋滞情報の表示及びゲートアウトの自動判定 ⑦傭車のCONPAS利用 ⑧CyberPortとの帳票連携 ⑨時間外におけるCONPAS予約機能の確認

予約時間枠・予約上限台数 ～試験運用時～

	予約時間枠	予約上限台数 実入り搬出：実入り搬入	備考
朝イチ	8:30～9:00	10台/枠：8台/枠	実入搬入・搬出ともにゲートオープン前にCONPAS車動線での車両待機不可
午前①	9:00～10:00	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、8:55からゲート入場可能
午前②	10:00～11:00	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、9:55からゲート入場可能
午前③	11:00～11:30	10台/枠：8台/枠	早着車両を考慮し、10:55からゲート入場可能
昼①	11:30～12:00※ ¹	10台/枠：8台/枠	早着車両を考慮し、11:25からゲート入場可能(水・木曜日)
昼②	12:00～13:00※ ¹	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、11:55からゲート入場可能(水・木曜日)
昼イチ	13:00～13:30	10台/枠：8台/枠	実入搬出：ゲートオープン時間（13:00）より前から待機場入場可能 ただしゲートオープンまでは待機場内で待機 実入搬入：早着車両を考慮し、12:55からゲート入場可能(水・木曜日) (水・木以外は、ゲートオープン前にCONPAS車動線での車両待機不可)
午後①	13:30～14:30	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、13:25からゲート入場可能
午後②	14:30～15:30	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、14:25からゲート入場可能
宵積み/宵卸し	15:30～16:30	20台/枠：15台/枠	早着車両を考慮し、15:25からゲート入場可能
時間外予約	16:30～※ ²	上限なし	「時間外予約」の動線で来場

※ 1 水・木曜日において予約が可能。

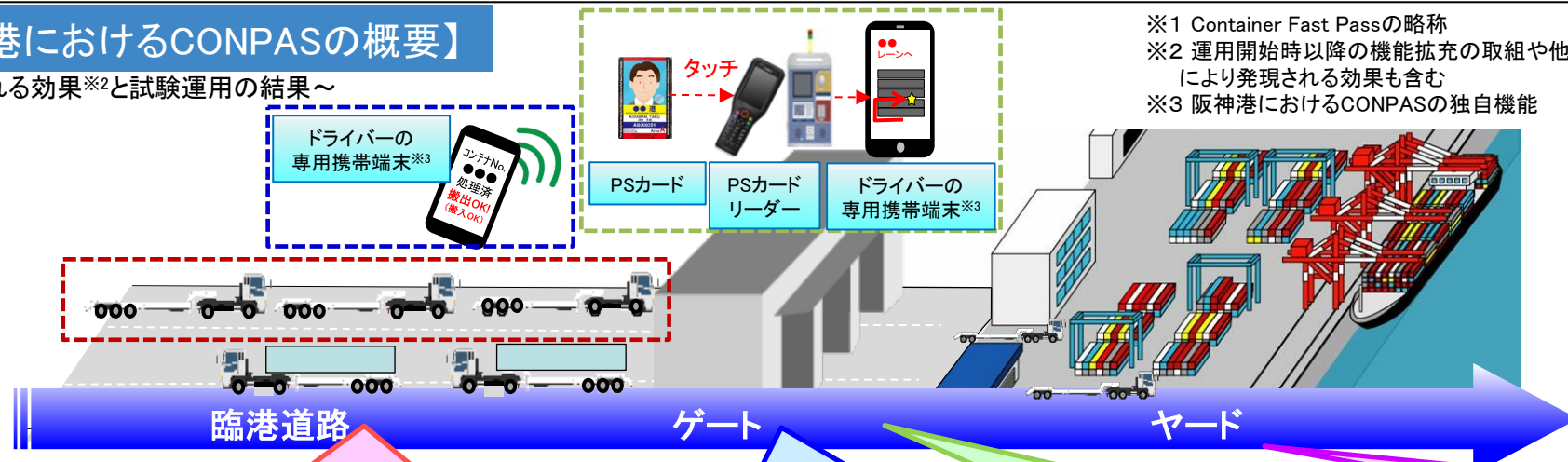
※ 2 16:30以降については、現状FAXで時間外予約を導入しているが、本試験運用にて時間外におけるCONPAS予約機能を確認する。

阪神港におけるCONPASの概要

- CONPAS※1は、コンテナターミナルのゲート前混雑の解消やコンテナトレーラーのターミナル滞在時間の短縮を図り、コンテナ輸送の効率化及び生産性の向上を図ることを目的として国土交通省が開発したシステム。
- 阪神港では、利便性の向上を目指し、阪神港の独自機能としてCONPAS専用携帯端末等を導入。
- 阪神港におけるCONPAS導入ターミナルについて、大阪港夢洲コンテナターミナルは令和6年3月29日、神戸港PC-18は令和6年9月27日から運用を開始。今後は神戸港KICTにおいて令和7年度中の運用開始に向け、調整中。

【阪神港におけるCONPASの概要】

～期待される効果※2と試験運用の結果～



※1 Container Fast Passの略称

※2 運用開始時以降の機能拡充の取組や他のシステムとの連携により発現される効果も含む

※3 阪神港におけるCONPASの独自機能

①搬出入予約

予約制度の導入により、トレーラー到着時間を平準化

②搬出入情報の事前確認

事前の搬出情報の確認、搬入情報の照合により、ゲートでのトラブルを回避

③PSカード・携帯端末の活用

PSカードタッチ処理・携帯端末による行先表示※3により、ゲート処理時間を短縮

④予約情報・車両接近情報の活用

CONPASを通じた車両情報等の活用により、ヤード処理を効率化

【試験運用結果】

・**予約制度・CONPAS専用レーン**の設定等により、ほぼ**全てのCONPAS車**が**予約時間どおり**に**コンテナターミナルゲート到着**

・大阪港DICT(実入搬出)の**ゲート前待機時間**について、CONPAS車は通常車と比較して、平均**約30分減**を確認

※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7～8)

【更なる将来展開】

・CONPAS利用の拡大を図りつつ、トレーラー到着時間の平準化を目指す

【試験運用結果】

・**ゲート処理時間**(実入搬出)が、平均**約1分減**

※大阪港DICT第2回試験運用(R4.8～9)

※神戸港PC18第2回試験運用(R3.8～9)

・CONPAS車では搬入票エラー等によるゲート待機無し

※大阪港DICT第5回試験運用・神戸港PC18第4回試験運用(R5.7～8)

【更なる将来展開】

・より効率的なゲート処理に向けて、CONPASの機能拡充を図る

【試験運用結果】

・ターミナルオペレーションシステムへ、CONPAS予約情報等のデータ送信機能を構築

【更なる将来展開】

・ターミナル事業者等と連携し、CONPAS予約情報の活用によるヤード処理の効率化を目指す